

07/15 - 07/21

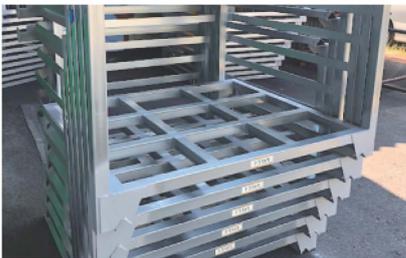
大阪ヘルスケアパビリオン
「リボンチャレンジ」



業界初！工具なしで
高さを変えられる
ネスティングラック

職人たちの熱意とロボットの合わせ技で高品質なものづくりを実現

1958年創業の新川製作所は、現在はクロスサポーターやネスティングラックなどの物流機器に特化した製造・販売を行なっています。設計から材料手配、切断、加工、静電焼付塗装までの一切を自社工場で行う「自己完結型生産方式」を採っているほか、塗装や溶接の工程でロボットを活用して、高い品質と生産性を確保。さらに、低価格と短納期をも実現しています。また、現場のDX化も推進し、ロボットの生産台数がリアルタイムに工場内のモニターに表示されるほか、材料の在庫管理システムも自社で構築しています。経営理念の中に「約束を守るという信条」という文言があるように、納入日と製造工程を毎日確認する独自の管理方法で得意先と約束した納期を確実に順守。同社への高い信頼につながっています。



使用しない時は入れ子で保管できる

日本で独自の進化を遂げた次世代型ネスティングラック

今回、新川製作所が大阪・関西万博に出展するのは、同社がオリジナルに開発した次世代型ネスティングラックの「エコテナーα」です。ネスティングラックとは、主に倉庫や工場で使われるスチール製保管棚でもっともアメリカで発明されたものですが、土地が狭く保管用地の少ない日本で、空間を有効に活用できるよう独自に進化させた製品です。エコテナーαは、保管する品物に合わせてラックの高さを変えられ、また倉庫の天井高に合わせてラックを自由自在にレイアウトすることができます。さらに、ロッドピンを使った独自の手法で工具を使わずに高さチェンジできるのも大きな特長です（特許技術）。使わないときは入れ子で保管できるのも特徴で、省スペースが図れます。



塗装ロボットの運用にも若手が活躍

持続可能な未来社会へ向け、日本のものづくりを世界にアピール

「エコテナーα」は亜鉛メッキを施しているため、通常のネスティングラックと異なり、塗膜の剥がれ落ちがなく、衛生的で、高い耐食性を誇っています。これにより、捨てられたり、倉庫の隅に放置されたままになったりせず、長く使用されるため、持続可能な社会の実現に貢献できる製品といえます。このように細やかに工夫を重ねるものづくりは、日本が世界に誇れることの一つであり、これまでどこにもなかった次世代型ネスティングラックとともに、大阪・関西万博で世界にぜひアピールしたいと考えています。



2人1組の「ボディ制度」で人材育成に成功

企業概要

所在地 〒599-8242
堺市中区陶器北98-2
TEL 072-234-2261
設立年 1968年（創業は1958年）
資本金 1,300万円
従業員 32名

公式サイト

さかしる



代表取締役
新川 浩 さん

ものづくりの喜びと誇りを社員たちが感じられる 大阪・関西万博へ

当社には、溶接ロボットが12台、塗装ロボットが3台稼働していますが、基本は若手を中心とした職人たちの「五感で感じ、行動する」ことを大切にアナログなものづくりへの熱意が、製品開発の原動力になっています。だから、今回の出展の一番の目的は、自分たちが心を込めて作ったものを大阪・関西万博という舞台で世界の人たちに見てもらい、喜びと感動を共有する、いわば「インナーブランディング」であるともいえます。今回、営業だけでなく、現場の社員全員にも万博仕様の名刺を作りました。誇りをもって家族や友人を案内してもらいたいです。

事業内容

クロスサポーター・ネスティングラック等の物流機器製造・販売、各種鋼材・配管の加工・販売

主な取引先（納入先）

物流パレット商社、運送・倉庫会社、各種メーカー

主な製品・サービス等

クロスサポーター、ネスティングラック、エコテナーα、特注パレット、ものづくりDXサポート